



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES 上場取引所 東  
コード番号 3563 URL <https://www.food-and-life.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 水留 浩一  
問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 吉田 剛（TEL）06-6368-1001  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	175,989	22.8	12,295	135.0	11,509	150.1	7,589	103.6	7,278	100.8	7,960	188.6
2023年9月期第2四半期	143,298	2.2	5,232	△45.3	4,602	△49.1	3,727	△33.3	3,625	△35.1	2,758	△57.8

  

	調整後EBITDA		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	18,414	62.1	62.91	62.32
2023年9月期第2四半期	11,358	△26.7	31.33	31.11

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	362,227	78,303	77,594	21.0
2023年9月期	351,619	72,659	72,268	20.1

（注）2023年9月期については、IAS第12号（改訂）「法人所得税」遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	22.50	22.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	19.3	36,000	40.3	22,000	100.0	13,000	64.6	112.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 北京寿司郎餐飲有限公司、除外 1社(社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期2Q	116,069,184株	2023年9月期	116,069,184株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年9月期2Q	367,322株	2023年9月期	382,884株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期2Q	115,693,659株	2023年9月期2Q	115,677,199株
------------	--------------	------------	--------------

(4) 各種指標の算式

指標

算式

調整後EBITDA

営業利益+減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)+  
減損損失

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	12
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2022年9月に新型コロナウイルス第7波が終息したものの、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴い資源価格が高騰しているのみならず、円安が進行しており、様々な物価が高騰し、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、同様にロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰や円安、様々な物価の高騰等により引き続き厳しい状況になっております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んで参りました。

また、業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第2四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	653(12)	6	11(3)	648(9)
国内：杉玉ブランド(FC)	79(17)	6(2)	4(3)	81(16)
国内：京樽ブランド	137(－)	2	12	127(－)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	95(－)	－	1	94(－)
国内：その他ブランド	22(－)	－	2	20(－)
国内合計	986(29)	14(2)	30(6)	970(25)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	132(－)	17	－	149(－)
海外：その他ブランド	5(－)	1	1	5(－)
海外合計	137(－)	18	1	154(－)
国内外合計	1,123(29)	32(2)	31(6)	1,124(25)

( ) 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益175,989百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益12,295百万円（前年同期比135.0%増）、税引前四半期利益11,509百万円（前年同期比150.1%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益7,278百万円（前年同期比100.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## (国内スシロー事業)

国内スシロー事業につきましては、より楽しく、より便利なお食事体験の実現を目指して、スシローでは、一部店舗で新しい店舗モデルのトライアルを実施しております。流れるすしがデジタルレーンで復活し、景品がもらえるミニゲームも搭載した「デジタル スシロー ビジョン」（通称：デジロー）を導入することで、お客様に新たな店舗体験を提供しております。

業績向上に向けた取り組みとして、「大大大感謝の春得祭」では、「青森産塩メひらめ」「うなぎ」「特ネタ中とろ」を1皿100円で提供し、「原神」とのコラボでは、コラボ限定グッズ付きのオリジナルメニュー、コラボ限定グッズが当たるSNSキャンペーンの企画をお客さまにお楽しみいただきました。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は118,993百万円（前年同期比20.5%増）、セグメント利益は7,994百万円（前年同期比314.4%増）となりました。

## (海外スシロー事業)

海外スシロー事業につきましては、2023年8月から開始されたALPS処理水放出による輸入規制および風評被害を受けて、中国大陸を中心に客数が落ち込みました。処理水放出の影響は一時的と見ており、集客力回復に向けて効果的な施策を検討して参りました。

そのような環境の中、台湾1店舗、香港1店舗、タイ3店舗、中国大陸において深圳1店舗と、新規出店を継続しております。

また、来店客数の維持・拡大に向けて、豪華祭り（中国大陸）、3貫盛り（韓国）、新年祭（台湾）、かに祭（香港）、サーモンフェア（シンガポール）、お得ネタと炙りネタ（タイ）など、魅力的な販促・マーケティング政策を各地域で継続的に実施いたしました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は41,561百万円（前年同期比40.1%増）、セグメント利益は3,206百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

#### （京樽事業）

京樽事業につきましては、テイクアウト事業では、2月の節分においては3種の恵方巻単品に1種のセット品を加えた4種のラインナップをお客様にご提供し、3月にはひな祭り限定の「海鮮ひなちらし」「姫ちらし」「ひな祭り茶きん鮓」をお楽しみいただきました。また、インターネット販売を強化しており、各種ネットスーパーにおいて冷凍鮓・チルド寿司等の販売を展開しております。

みさきブランドでは、赤シャリや各種販売が好評で売上は順調に推移しました。また、「すしみさき」へのブランド転換を引き続き継続しております。加えて、店舗オペレーションの効率化を実施すると共に接客の強化を図ることで店舗体験価値の向上に努め収益力の強化を進めて参ります。

以上の結果、京樽事業の売上収益は12,335百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は50百万円（前年同期セグメント損失456百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び資本の状況

#### （資産）

総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ10,609百万円増加し、362,227百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ9,604百万円増加し、81,005百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が4,907百万円、営業債権及びその他の債権が2,255百万円、棚卸資産が1,372百万円増加したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,005百万円増加し、281,222百万円となりました。これは主に、新店出店等により有形固定資産が533百万円増加したこと等によるものであります。

#### （負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,965百万円増加し、283,925百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,418百万円減少し、77,073百万円となりました。これは主に、営業債務及びその他の債務が3,918百万円、未払法人所得税が2,779百万円増加した一方で、社債の一部につき借換を実施したことに伴い、社債及び借入金金が15,001百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ9,383百万円増加し、206,851百万円となりました。これは主に、社債の一部につき借換を実施したことに伴い、社債及び借入金金が12,554百万円増加したこと等によるものであります。

#### （資本）

資本合計は、前連結会計年度末に比べ5,644百万円増加し、78,303百万円となりました。これは主に、配当金の支払により2,603百万円減少した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により7,278百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,907百万円増加し、56,135百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、28,766百万円（前年同期比50.0%増）となりました。

これは主に、税引前四半期利益11,509百万円、減価償却費及び償却費14,721百万円の計上、営業債務及びその他の債務の増加が3,833百万円、法人所得税の還付額が1,030百万円あった一方で、営業債権及びその他の債権の増加が3,257百万円、棚卸資産の増加が1,354百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9,364百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が8,013百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、14,618百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

これは主に、社債の償還による支出が20,000百万円、社債の発行による収入が19,494百万円、リース負債の返済による支出が9,523百万円、配当金の支払額が2,597百万円、長期借入金の返済による支出が2,005百万円あったこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、第2四半期連結累計期間の業績を鑑み、通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、2024年5月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	51,228	56,135
営業債権及びその他の債権	12,457	14,712
棚卸資産	3,965	5,337
その他の金融資産	1,389	1,969
その他の流動資産	2,363	2,853
流動資産合計	71,401	81,005
非流動資産		
有形固定資産	176,615	177,148
のれん	30,371	30,371
無形資産	56,332	56,521
持分法で会計処理されている投資	52	52
敷金及び保証金	14,257	14,320
その他の金融資産	417	653
繰延税金資産	1,490	1,492
その他の非流動資産	682	665
非流動資産合計	280,217	281,222
資産合計	351,619	362,227
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	30,080	33,998
社債及び借入金	24,007	9,006
未払法人所得税	1,070	3,850
リース負債	17,901	18,611
その他の金融負債	1,362	1,405
引当金	3,136	4,238
その他の流動負債	3,935	5,967
流動負債合計	81,491	77,073
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	23	23
社債及び借入金	64,952	77,507
リース負債	114,689	111,427
その他の金融負債	111	114
引当金	4,363	4,440
繰延税金負債	13,330	13,333
その他の非流動負債	—	8
非流動負債合計	197,468	206,851
負債合計	278,960	283,925
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,676	15,668
利益剰余金	53,787	58,462
自己株式	△1,840	△1,773
その他の資本の構成要素	4,544	5,137
親会社の所有者に帰属する持分合計	72,268	77,594
非支配持分	391	708
資本合計	72,659	78,303
負債及び資本合計	351,619	362,227

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	143,298	175,989
売上原価	△64,154	△76,382
売上総利益	79,144	99,607
販売費及び一般管理費	△73,234	△85,867
その他の収益	1,017	294
その他の費用	△1,696	△1,739
営業利益	5,232	12,295
金融収益	52	228
金融費用	△733	△1,014
持分法による投資利益	52	—
税引前四半期利益	4,602	11,509
法人所得税費用	△875	△3,920
四半期利益	3,727	7,589
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,625	7,278
非支配持分	103	311
四半期利益	3,727	7,589
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	31.33	62.91
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.11	62.32

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期利益	3,727	7,589
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△969	371
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△969	371
税引後その他の包括利益	△969	371
四半期包括利益	2,758	7,960
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,655	7,643
非支配持分	103	317
四半期包括利益	2,758	7,960

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高	100	15,692	47,579	△1,894	3,639	65,117	18	65,134
会計方針の変更による累積的影響額			766			766	2	767
会計方針の変更を反映した当 期首残高	100	15,692	48,345	△1,894	3,639	65,882	19	65,902
四半期利益			3,625			3,625	103	3,727
その他の包括利益					△969	△969	1	△969
四半期包括利益合計	—	—	3,625	—	△969	2,655	103	2,758
自己株式の処分		△12		28	△2	14		14
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		11			△11	—		—
株式に基づく報酬取引					233	233		233
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△1	△2,603	28	221	△2,355	—	△2,355
2023年3月31日時点の残高	100	15,691	49,367	△1,867	2,891	66,182	123	66,305

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年10月1日時点の残高	100	15,676	53,787	△1,840	4,544	72,268	391	72,659
四半期利益			7,278			7,278	311	7,589
その他の包括利益					365	365	6	371
四半期包括利益合計	—	—	7,278	—	365	7,643	317	7,960
自己株式の処分		△39		67	△14	13		13
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		31			△31	—		—
株式に基づく報酬取引					274	274		274
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△8	△2,603	67	228	△2,316	—	△2,316
2024年3月31日時点の残高	100	15,668	58,462	△1,773	5,137	77,594	708	78,303

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,602	11,509
減価償却費及び償却費	12,693	14,721
減損損失	1,541	503
金融収益	△52	△228
金融費用	733	1,014
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22	724
敷金及び保証金の家賃相殺額	131	136
持分法による投資利益	△52	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,779	△3,257
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△551	△1,354
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	2,193	3,833
その他	△940	2,092
小計	18,541	29,692
利息及び配当金の受取額	37	68
利息の支払額	△665	△872
法人所得税の支払額	△1,207	△1,153
法人所得税の還付額	2,466	1,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,171	28,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,068	△8,013
有形固定資産の売却による収入	652	8
無形資産の取得による支出	△446	△600
定期預金の預入による支出	△780	△1,102
定期預金の払戻による収入	—	661
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△1,394	△471
投資有価証券の取得による支出	—	△235
その他	834	388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,202	△9,364
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	—	△20,000
社債の発行による収入	—	19,494
長期借入金の返済による支出	△2,005	△2,005
リース負債の返済による支出	△8,358	△9,523
支払手数料の支払による支出	△1	△8
自己株式の取得による支出	△0	△0
新株予約権の行使による収入	14	13
配当金の支払額	△2,596	△2,597
その他	6	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,939	△14,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,970	4,784
現金及び現金同等物の期首残高	50,637	51,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	△580	123
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,087	56,135

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を採用しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第12号 (改訂)	法人所得税	繰延税金資産及び繰延税金負債の当初認識の免除規定に係る改定
IAS第12号 (改訂)	法人所得税	「国際的な税制改革-第2の柱モデルルール」を導入するために制定又は実質的に制定された税法から生じる法人所得税に関する開示

IAS第12号(改訂)「法人所得税」(2021年5月改訂)の適用により、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異を生じさせる取引に関する当初認識時の会計処理が明確化され、当該将来加算一時差異と将来減算一時差異について繰延税金負債及び繰延税金資産が連結財政状態計算書にそれぞれ認識されることとなります。

同基準の適用により、前連結会計年度の連結財務諸表を遡及修正しております。その結果、要約四半期連結財政状態計算書の前連結会計年度末において、「繰延税金資産」が937百万円、「繰延税金負債」が23百万円、「利益剰余金」が912百万円、「非支配持分」が3百万円それぞれ増加しております。

なお、同基準の適用による累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書において、前第2四半期連結累計期間の「利益剰余金」の期首残高が766百万円、「非支配持分」の期首残高が2百万円それぞれ増加しております。

## (セグメント情報)

## ①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド(主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」)

その他事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONSが運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

## ②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内ス ロー事業	海外ス ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	98,749	29,663	12,333	2,553	143,298	—	143,298
セグメント間収益	—	—	116	7	123	△123	—
計	98,749	29,663	12,448	2,560	143,421	△123	143,298
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	1,929	2,683	△456	△203	3,953	1,279	5,232
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	7,957	3,331	820	310	12,418	275	12,693
減損損失	1,175	98	116	152	1,541	—	1,541

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,279百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内ス ロー事業	海外ス ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	118,993	41,561	12,325	3,110	175,989	—	175,989
セグメント間収益	—	—	9	33	42	△42	—
計	118,993	41,561	12,335	3,143	176,032	△42	175,989
セグメント利益 (注) 1	7,994	3,206	50	37	11,286	1,009	12,295
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	8,061	5,056	851	343	14,312	409	14,721
減損損失	259	162	57	24	503	—	503

(注) 1. セグメント利益は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額1,009百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

## (販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
従業員給付費用	40,213	47,987
減価償却費及び償却費	12,661	14,687
水道光熱費	4,295	4,015
支払手数料	2,988	3,557
その他	13,078	15,621
合計	73,234	85,867

## (1株当たり利益)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	3,625	7,278
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	3,625	7,278
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	3,625	7,278
基本的期中平均普通株式数(株)	115,677,199	115,693,659
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	831,977	1,093,930
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,509,176	116,787,589
基本的1株当たり四半期利益(円)	31.33	62.91
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.11	62.32
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類 (普通株式172千株)	新株予約権4種類 (普通株式284千株)

## (重要な後発事象)

## 自己株式の取得

当社は、2024年5月10日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第36条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元施策、資本効率の向上及び機動的な資本政策の実施のため。

## 2. 取得に係る事項の内容

- |               |   |
|---------------|---|
| (1)取得する株式の種類  | 普通株式  |
| (2)取得する株式の総数  | 330万株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:2.85%) |
| (3)株式の取得価額の総額 | 75億円(上限)                                    |
| (4)取得期間       | 2024年5月13日～2024年9月30日                       |
| (5)取得方法       | 東京証券取引所における市場買付け                            |